



HIMES ニュース

ハイメス

Hokkaido International Music Exchange Society News Letter

■第7回ハイメスオーケストラ演奏会



リスト ピアノ協奏曲第2番 ソリスト小山雪絵



ラヴェル ピアノ協奏曲 ソリスト三上絵里香



指揮者 澤 和樹(東京藝術大学学長)

HIMESオーケストラ大成功に感激

ハイメス理事長 藤田久雄



真夏日連続10日など記録的な猛暑の夏も終わり、北国特有の爽やかな季節を迎えました。会員の皆様にはお元気にて芸術の秋をお過ごしのことと存じます。

通算して15回目の今年のHIMESオーケストラは8月14日(水)、ちえりあホールで開催しました。指揮者に澤和樹(東京藝大学長)、コンサートマスターに大平まゆみ・井上澄子(両札幌)、ソリストに小山雪絵(第20回コンクール1位)、三上絵里香(第23回コンクール1位)を迎えました。

今回は指揮者が世界的なヴァイオリニストということもあり、ドヴォルザークの交響曲第8番など素晴らしい音楽が作られました。終演後のブラボー、大拍手のため指揮者が何回もカーテンコールを受けていました。聴衆は大満足のコンサートであったと思います。参加アーティストからは、①指揮者がオーケストラプレイヤーとしての経験も豊富なために時間の使い方を含め無駄の無い練習だった ②弦楽器分奏は音楽的な指摘、それに対する奏法の指導があり大変も勉強になった ③管楽器分奏についてもメンバーの積極的な要望もあり、時間がオーバーしてまで行われた ④その結果コンサートにて指揮者との一体感が感じられた、との感想が届いています。これがまさにハイメスのめざすプロとアマチュアの熱気ある融合であろうと思います。

15回のハイメスオーケストラの歴史の上に今日の成功があると思います。この演奏会の企画立案推進に努力

頂いた研修事業委員会の文屋委員長はじめ委員の皆様にご感謝申し上げます。

ハイメスは創立30周年に当たり、各事業を見直しております。オーケストラ事業についても、さらに充実した内容でハイメスの所期の目的を達成していきたいと考えております。その為、2020年度は検討充電期間とし休止します。2021年度に再開、以降1年おきに開催することになりました。

趣旨ご賢察のうえ、今後ともオーケストラ事業にご支援頂くようお願い申し上げます。

第32回ハイメス・ニューイヤーコンサート ～希望に満ちた ころろ躍る春～

第32回目となる新春恒例のハイメスニューイヤーコンサートは、第31回ハイメスコンクール〈声楽部門〉第1位入賞の月下愛実さんの美しく瑞々しい歌声と、長きにわたりドイツをはじめヨーロッパで活動され、帰国後札幌を拠点に幅広く演奏活動を行なっている大平由美子さんが奏でるピアノの音色をお楽しみいただきます。そして、ハイメス声楽会員を中心とした女声コーラス〈ミベラーズ〉によるステージは、皆様お馴染みの曲などを交えながら華やかに新年の幕開けを彩ります。

このコンサートの益金は、毎年3月開催のハイメスコンクールで入賞した北海道の若手音楽家たちの海外研修を支援するための助成金とさせていただきます。平成から始まったハイメスの活動は新しい「令和」という時代を迎えてなお発展し続けています。世界へ羽ばたく北海道の若手音楽家たちを応援し続けるために、ぜひ会場にて皆様をお待ち申し上げます。

2020年1月19日（日）午後5時開宴

札幌パークホテル 3階 パークホール

開場 午後4時40分 デイナー 午後5時50分

司会／岡元敦司 浅原富希子

祝奏 宮城道雄作曲「春の海」 尺八 後藤双山

ヴィオラ 前南有



♪ソプラノ独唱 月下愛実（第32回ハイメスコンクール第1位）

ピアノ 橘田由希乃

J.シュトラウスII 「春の声」

D.ムーア 歌劇『ベイビー・ドゥ』のバラードより「柳の歌」 他



♪ピアノ独奏 大平由美子

D.スカルラッチィ ソナタ ホ長調 K.380

F.シューベルト 即興曲 変ホ長調 Op.90 - No.2 他



♪ミベラーズ ～歌の宝石箱～

板垣恵 笹尾雅代 延与幸恵 桑島昌子 千田三千世

高橋雅子 菅原利美 久慈睦子 谷地聡子 三浦宏予 ピアノ 橘田由希乃



お楽しみ抽選会があります！

フィナーレは「虹と雪のバラード」を皆さんと一緒に！

【出演者の声】尺八 後藤双山（ハイメスニューイヤーコンサート委員）

「ニューイヤーコンサート」は形式はコンサートなのですが、一番ハイメスの意義と意思を込めた「催し物」なのだと理解しています。

北海道の音楽文化の向上と、その裾野を広げるために「若手音楽家を応援する」、その発想を形にするため、ハイメスが毎年コンクールを主催し、その一位には研鑽のための援助を行なっていますが、これもこのコンサートに多くの方がご来場ご支援して下さる賜物であると感謝しかありません。私は不思議な縁でハイメスに所属し、毎年演奏もさせていたのですが、いつも皆様が熱心に聞いていただいているのをステージの上で感じています。

祝奏「春の海」は普通、箏と尺八で演奏されますが、作曲者の宮城道雄は始め尺八以外の楽器も使っていました。そこで今回はヴィオラと尺八の合奏にしました。声楽、器楽などハイメスの豊富な音色を楽しんでいただけましたら幸いです。

■第19回 ハイメス・プラザ 時計台の鐘コンサート

2019年10月23日(水)午後7時開演 札幌市時計台ホール

去る10月23日(水)、時計台ホールにて第19回ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサートが開催されました。ハイメスに新しく入会したアーティストを中心に、ピアノソロ、ソプラノ、ヴァイオリン・オーボエ・ピアノによるアンサンブルなど、バラエティに富んだプログラムをお送りいたしました。コンサートの最後には会場のお客様と出演者で「時計台の鐘」を合唱し、時計台ホールは温かな拍手で包まれました。

《出演・プログラム》

◇ピアノ 西谷麻里子

J.S.バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番 ハ長調 BWV 846 他

◇ヴァイオリン 長谷川夕子 オーボエ 岡本千里 ピアノ 村上明子

J.S.バッハ ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 ハ短調 BWV1060

◇ソプラノ 山中佐和子 ピアノ 渡部麻千子

F.シューベルト ますD.550 子守歌 D.498 他

◇ピアノ 明上山貴代

F.ショパン バラード 第1番ト短調 Op.23 他



■第51回 ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート

「L.V.ベートーヴェンの足跡をたずねて」

2020年3月4日(水)午後7時開演 ザ・ルーテルホール

3月のルーテルコンサートは2020年に生誕250年を迎えるベートーヴェンをテーマとして、ピアノ独奏、声楽、弦楽三重奏など多彩なプログラムを企画中です。

《出演》

◇ピアノ独奏 伊藤庸子

◇弦楽三重奏 チェロ 山田慶一 ヴァイオリン 山本泰子 ピアノ 石井ルカ

◇ピアノ独奏 石田敏明

◇バリトン 則竹正人 ピアノ 石橋克史

コンサートの詳細は12月末頃にホームページにてお知らせいたします。

第32回ハイメスコンクール<ピアノ部門>のご案内

若手音楽家を育てるというハイメスの趣旨のもと、設立以来、道内にゆかりのある若手音楽家の海外研修奨学金(1位50万円)を支援するため、声楽・ピアノ・管弦打楽器部門の3部門を毎年順次開催しています。過去の入賞者の中からは万円、国内外で活躍する多くのアーティストが育っています。募集要項、参加申込書はハイメスのホームページからダウンロードができます。

【日時】2020年3月19日(木)午前11時開始予定 【会場】北広島市芸術文化ホール(花ホール)

【審査委員】

委員長 練木 繁夫 (ピアニスト・桐朋学園大学教授)

委員 石田 敏明 (ピアニスト・北翔大学専任講師)

委員 谷本 聡子 (ピアニスト・札幌大谷大学教授)

委員 本堂 知彦 (音楽評論家・北海道教育大学札幌校教授)

委員 松永 加也子 (ピアニスト・北海道教育大学岩見沢校教授) (敬称略・五十音順)

♪ 第29回ピアノ部門第1位の横山瑠佳さん、第30回管・弦・打楽器部門第1位の久保陽子さん(クラリネット)が今秋から留学生生活をスタートさせました。横山さんはドイツ・ミュンヘン音楽演劇大学、久保さんはフランス・パリエコールノルマル音楽院でそれぞれ研鑽を積まれます。お二人の留学レポートは次号のニュースレター、ハイメスのホームページにてお知らせする予定です。

「創立30周年記念誌」完成!



ついに、「創立30周年記念誌」が完成しました!

記念誌製作の企画が持ち上がったのは3年前...そこからは広報委員会が記念誌編集委員として、過去資料の整理、データ化、編集、校正を担ってきましたが、校了目前に印刷会社の倒産というまさかの事態が発生。新たな印刷会社の検討や再度データの編集、校正等が必要となりました。そのため、発行が大幅に遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。完成した30周年記念誌は、10年前に発行された20周年記念誌から10年間の活動を主にまとめておりますが、設立から現在に至るまでの歴史も振り返られるような内容となっております。

ハイメスが歩んだ30年、そしてこれからのハイメスの在り方を、この「創立30周年記念誌」をご覧くださいながら皆様感じていただきたく思っております。

(ハイメス事務局 立花麻美)

編集後記

朝目覚めたら屋根がなかったという先日の猛烈台風15号。あっという間に電柱をなぎ倒し、収穫目の梨を総落させた。これまでに何度も“自然の一撃”による甚大な災害被害を目の当たりにしてきたが、復旧へ費やす時間と労力は“一撃”の膨大倍である。これでも文明が進化したと言えるのだろうか、人類が進化と思っているものは対処療法的なもので、根本のところは何も変わっていないのではないか。一生命体として地球と共存する意識は人間よりも他の動植物の方がはるかに高く、それこそ実に多様な生物形態進化を遂げているのを見ると人類の非力さを直視せざるを得ない、と災害発生の度に思う。ライフラインや生活の正常化において音楽家は直接的には無力だが、役立たずかと言えばそうでもない。音楽は人間界だけでなく自然界にも無数に存在している。音がいざるところには必然的に音楽がある、しかし、音は空気がないと存在し得ない、つまり音楽は地球において生命が息づく証でもある。人類の歴史において今日まで音楽は消えることはなかった。それは、生きている者に生きていることを実感させてくれる大切なものだからなのではないか。そしてそれを担うのが音楽家の大切な存在意義なのではないかと編集を終えて思うこの頃である。

(広報委員 森吉亮江)

ホームページリニューアルのお知らせ

2006年に開設されたハイメスの公式ホームページが12月にリニューアルします!

ハイメスについての情報をよりわかりやすくお伝えするために新しいページを製作中です。

新しいホームページにはコンサート情報はもちろん、アーティスト会員のプロフィール掲載など新しいコンテンツを追加予定です。ぜひお楽しみに!



(画像は製作中のものです)



広報誌のバックナンバーは公式HPから

ハイメス

検索

<http://www.himes.jp>

企画・製作 ハイメス広報委員会

長沼修(ハイメス広報委員長) 立花雅和
駒ヶ嶺ゆかり 森吉亮江

NPO法人北海道国際音楽交流協会(ハイメス)

〒060-0001

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル6階SIS内

☎011-232-7592 / 011-232-7793

office@himes.jp